

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	はじめまして絵本事業	会計	一般会計	事業No.	805	施策順No.	24-007
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-5-10-5		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	課等名			図書館		
施策	24 家庭教育の充実	事業期間	開始	S58	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内居住7ヶ月児親子、2歳児親子					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない						
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		7ヶ月児人数	989	991	923	903		890					
		2歳児人数	952	948	973	953		960					
意図	絵本の読みかかせの大切さを理解してもらい、読書を通じて家庭での親子のコミュニケーションを図る												
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		プレゼントを受け取った率 (参加者÷対象者 %)	95.4	97.1	99.1	98	99.2	98			A		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	参加者が年々増加しており、事業の周知と理解が深まっていると考えられる。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	7ヶ月相談時に乳児とその保護者に絵本1冊をプレゼントし、図書館職員がこぼと心を育てる絵本の大切さについて指導。また、2歳児相談時に読みかかせとその大切さを指導。合わせて絵本の読みかかせを実演し、読みかかせの楽しさ・大切さをPR。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 読書指導(結いタイムの大切さを浸透させる)と絵本1冊プレゼント 2 2歳児相談時のフォローアップ(絵本の読み聞かせと絵本紹介) 3 公民館と連携し、乳幼児学級での絵本講座開催 4 保育園・小学校との連携(団体貸出・リスト配布・お便り配布等)	1 7ヶ月相談 2 2歳児相談 3 乳幼児学級読書講座 4 お便り発行回数	1 59回 896人 2 45回 864人 3 27回 755人 4 4回
23年度実施計画	1 読書指導(結いタイムの大切さを浸透させる)と絵本1冊プレゼント 2 2歳児相談時のフォローアップ(絵本の読み聞かせと絵本紹介) 3 公民館と連携し、乳幼児学級での絵本講座開催 4 「わが家の結いタイム」PR・推進 5 はじめまして絵本パンフレットの見直し・作成	1 7ヶ月相談 2 2歳児相談 3 乳幼児学級読書講座 4 全市民へのPR・啓発	1 60回 人 2 44回 人 3 20回 人 4 随時

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	822	821	770	
	計 (A)	822	821	770	
	正規職員所要時間		160		
	臨時職員等所要時間				
	人件費計 (B)		572		
	トータルコスト A+B		1,393		

4 事業に対する市民や議会の意見

この事業について平成15及び20年度の2回にわたり、対象者へのアンケート調査を実施しており、いずれも有意義な事業であると評価を得ている。「第5次飯田市基本構想基本計画推進委員会」から、平成21年度の提言で良い評価を得ている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	親子のコミュニケーションが図られる。	施策の成果指標又はムトス指標	子どもとコミュニケーションがとれている世帯の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	本に興味を持ち始めるこの時期に、親子双方へ働きかけることにより、その後の子どもの読書習慣に大きな影響を与えると共に、親子のコミュニケーションを図るきっかけとなっている。平成20年に実施したアンケートでも事業の効果が実証された。		
	後期に向けた課題	配布用パンフレット・絵本リストなどの見直し。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	年度ごとに図書館担当者と保健課担当者が前年度の反省を踏まえた計画と調整を行ってきた。また対象者アンケートを実施することにより事業の成果を検証、反映させてきた。		
	後期に向けた課題	担当職員の資質向上と指導内容の見直し。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	事業費のほとんどはプレゼントする絵本代であり削減の余地はないが、配布用の絵本リストを図書館で印刷して配布してきた。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	「こころ豊かな人づくり」につながる読書習慣への第一歩となる事業であり、市が子どもの誕生を祝い読みかせの重要性やコミュニケーションの大切さを伝えるメッセージ性の高い事業である。また子育て支援の一環でもあり、市が直接実施すべき事業である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	主体は市である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	児童の読書離れ活字離れが懸念される中、乳幼児期からの読書習慣と親子のコミュニケーションの大切さを伝える本事業は評価されてきた。図書館利用者が年々増加し、中でも親子での来館や父親が子どもと一緒に来館する姿が多く見られるようになり、事業の効果が現れていると考える。		
	後期に向けた課題	事業の質の向上。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------